



■**どんど焼きでフィナーレ**
2日間のまつりを締めくくると、どんど焼きが弁天緑地で行われました。
26日午後9時、神明神社で採火された御神火によって14の御神体に一斉に火が放たれると、高く燃え上がる炎は夜空を焦がし、会場に訪れた人々は、五穀豊穡と鎮火（ひしずめ）を祈願しました。奥越にもようやく春が訪れます。



シンポジウムの様子

勝山左義長文化シンポジウムに市民400人が参加
左義長まつり前夜の24日に市民会館で見出しのシンポジウムが行われました。
第1部は「勝山左義長の魅力と課題」をテーマに、福井テレビチーフアナウンサー松枝隆一氏をコーディネーターに、勝山市史編さん室の山田雄造氏、鳥取大学准教授の高橋健司氏、左義長まつり実行委員会の丸屋仁志氏、左義長ばやし保存会の榎家淳一郎氏、奄美島唄奏者の川畑さおり氏によるパネルディスカッションが行われました。
歴史や伝統を守りながらもやっっている人たちが楽しめるようまつりを維持していく、また様々な文化を認め合いお互いの絆を深めながら後世に文化を繋げてほしいとシンポジウムを締めくくりました。



奄美島唄ステージ



奄美の歌姫 川畑さおり氏

第2部では、奄美の歌姫川畑さおり氏、高校生の界（さかい）眞子氏、中学生の嘉村美里氏、喜界町生涯学習課の岩松利和氏による奄美島唄のステージがありました。
中には、川畑さんが会場のお客さまと振り付けを行い歌う曲目もあり、そこにいる人皆が奄美の島唄に引き込まれ、心が揺さぶられました。



第5回勝山左義長まつり 絵行燈用「川柳」全国公募結果

全国から寄せられた絵行燈用「川柳」3,350句から選ばれた21句が絵行燈として絵付けされ、勝山左義長まつり期間中、ゆめおーれ勝山前に展示しました。入選作品は以下のとおりです。

(順不同・敬称略)

お雛子が春の扉をノックする ふるさとの心ひとつにする祭り 鯉と恋どちらも燃えたカープ女子 勝山の太鼓打つ子のいい笑顔 ほっこりと辻行燈へ人の波 競技より激しいバトル五輪前 見る人の笑顔引き出す絵行燈 都知事選見えた女性の底力 トランプの次のカードを待つ日本 トランプ氏トランプよりもよくキレル いい年になれよと響くふれ太鼓 ポケモンがバカモンとなるマナー無視 婚活の二人ドンドで馴れ初めに 左義長の平和の祈り宙（ソラ）を舞う 百合の花都庁に凜と咲いている ワンカップ程の幸せ年金日 家族には駆けつけ介護という任務 神ってる事は無いけど日に一步 関わりはないが都知事へ味方する 四島に取り付く島が無い日本	井上 信子 中川 潔 小金奈緒美 金子 秀重 今村 久栄 伊藤よし子 清水 春美 瀬尾 恵子 山本 榮一 植松 勇人 梶浦 公靖 小田中準一 井内 斐子 山田 静枝 藤林 郁甫 海老原順子 改発 利佳 園田 浩 佐渡由利子 松川 靖	大阪府高石市 福井県福井市 埼玉県越谷市 岐阜県岐阜市 石川県能美市 岩手県盛岡市 東京都練馬区 栃木県大田原市 埼玉県春日部市 静岡県富士市 東京都豊島区 千葉県市川市 徳島県西郡石井町 福井県越前市 北海道札幌市 茨城県桜川市 神奈川県横浜市 熊本県熊本市 福岡県遠賀郡岡垣町 埼玉県鴻巣市
--	---	--

椎名誠賞

「雪山に色短冊が映える街」

梅山 すみ江（神奈川県 川崎市）

勝山左義長まつりプレミアムツアー大盛況!

◆県内外から45人参加

勝山商工会議所主催の「勝山左義長プレミアムツアー」が2月26日・27日に開催され、芥川賞作家の辻原登氏をはじめ、東京・神奈川・埼玉・千葉の関東圏、大阪・京都の関西圏からの参加者を含め、県内外から45人の方が参加されました。



◆参加者の声

参加者は市民ガイドや地元区の方から説明を受けながら各橋などを見学しました。
夜は左義長ばやしを見たり体験をしながら「勝山ふるさとご膳」を味わい、フィナーレのどんど焼き見学をしてまつりを堪能していました。

今回で2回目の参加です。どんど焼きの荘厳さが忘れられなくてまた参加しました。旅仲間を連れてまた左義長まつりにぜひ来たいと思います。
(埼玉県ふじみ野市在住)



初めて左義長プレミアムツアーに参加させていただき、赤襦袢まで着ることができました。ありがとうございます。
辻原登先生には、ぜひ勝山左義長を題材とした恋愛小説を執筆していただき、このまつりが日本中に知られたらと嬉しいです。
(大阪府枚方市在住 46歳女性)